

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：きゃんばす東神奈川保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：代表取締役 土屋はるか	定員（利用人数）： 75名	
所在地：〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川2-42-5ゴールデン東神奈川ビル3F		
TEL：045-444-1511	ホームページ：https://www.living-platform.com	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2019年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ナーサリープラットフォーム		
職員数	常勤職員： 14名 非常勤職員 9名	
専門職員	（専門職の名称） 名 調理師 2名	
	保育士 17名 事務員 1名	
	栄養士 1名 配膳 1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室3階（0, 1歳児保育室）、保育室4階4, 5歳児保育室（部屋の仕切り無し）、保育室5階2, 3歳児保育室	3階：事務所・更衣室・相談室、4階：給食室、屋上

③ 理念・基本方針

理念「共に学び、共に遊ぶ事を通して未来の希望を育む」
保育目標・創造的な思考 ・豊かな感性 ・感謝の心
運営方針 養護と教育という両面を重視し、健全な心身を養い生活の基盤となる習慣や態度を育てると共に異年齢、年代間、異文化交流を通して、多様性を受け入れられる柔軟な思考、完成と自主性の育成を目指します。また、未来を担う子どもたちに安心して成長できる環境や質の高い教育を提供し、望むのであれば世界に通用する素地を身に付けることができる場を考えております。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

・保育園では、養護と教育を一体的に進めている。（養護）生命の保護、および情緒の安定を図る事（教育）子どもが健やかに成長するための活動や体験がより豊かに展開されるための発達の援助であり、健康、人間関係、環境、言語、表現の五領域から構成されている。上記の事を踏まえて乳児期は、基本的な生活習慣を身に付けながら暖かい居場所となる保育を土台にここを重視し、細やかな個別計画を立案とあげる。幼児は、英語、珠算、IT（タブレットを活用したアクティブラーニング教育）を教育の3本柱として幼児教育に力を入れていきます。個々の発達を大切に、衛生の安全配慮した環境設定を行ない、生活や遊びを通して発達を促せるよう保育を行います。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年 7月27日（契約日） ～ 2023年 3月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

医療機関との連携が密にとられている

保育園は複合ビル内に位置しており、同ビル内には小児科（園医）もある。年2回実施される健康診断では、欠席の場合は予備日に実施し、都合がつかない場合は、保護者が直接通院して実施することができる。また、歯科健診も同様の取り組みになっている。保育中に、健康に関する疑問が生じた場合や小さなケガで通院を躊躇するような案件でも気軽に相談を受けることができ、常に保健に関する新しい情報の提供も受けている。緊急時に対応可能な医療機関がある事により、安心感をもって生活ができている。

様々な体験を通して自分の好きなことを見つけ、探求心や自己肯定感を育てている

保育の中で戸外活動を多く取り入れ、季節を感じたり、自然物に触れる体験をしたりしながら、環境に対する好奇心や探求心が育っている。保育活動に、英語・珠算・ITによるアクティブラーニング・書道などを経験する機会が設けられていることで、自分の好きなこと、夢中になれること、得意なことが見付き、継続して楽しんでいくことにより自己肯定感が育まれるような環境が整っている。

理念、基本方針を保育の中で実践として行っている

園の保育理念は「共に学び共に遊ぶ事を通して未来の希望を育む」というわかりやすい内容で、入園時には園長が理念や基本方針の説明を行っている。保護者アンケートでは、「上のクラスの子と一緒に何かをやったりすることは影響力があり、良い」との声も聞かれている。理念の「共に学び共に遊ぶ・・・」が言葉としてでなく、保育の中で実践として行われており保護者に伝わっていると捉えられる。

今後期待される点

さらなる職員の専門性の向上に向けた取り組みに期待したい

職員は、保育経験や子育て経験を生かしながら、子どもを尊重した保育実践に取り組んでいる。運営法人から提供される保育に必要とされる情報については、丁寧に読み込むように努めている。階層ごとに求められる知識やスキルが計画的に身につくように研修計画も策定されているが、今年度は計画的な実施ができていなかったこともあり、今後は計画的な受講をすすめ専門性の向上に繋がるような取り組みに期待したい。

中長期の計画を策定し明示することが望まれる

コロナ禍での開園ということもあり、開園前に計画していた多くのことが制限されてしまった現状であるが、今後の園運営に関して、また、中長期計画についても具体的に検討を進めており、園長と主任で話し合いながら策定することを目指している。中長期計画を明示し、職員と共有し進めていくこと、同様に、保護者への共有にも期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審して、改めて認可保育園という施設の立ち位置、大切さを認識しました。

また、子ども達や、保護者様との関わりをもっと大切に、寄り添っていきたくないと再認識できました。

自分自身の園長という責任ある立場を振り返り、身の引き締まる思いです。

職員も今回の第三者評価に向けて自己評価を作成する中で、日々の保育の課題を見出すこともできました。この機会を大切に今後活かしていきたいと思います。保護者の皆様にはアンケートのご協力をいただき、感謝しております。貴重なご意見を真摯に受け止めて、改善すべきところは改善できるよう努力していきます。未来ある子ども達を、保護者様、保育者の協力の中で、温かく見守っていきたく思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり